

沖野幼稚園

沖野幼稚園の園庭には、クルミやウメ、ドングリなどの実のなる木やイチョウ、モミジなど紅葉する木、サクラやハナミズキなどたくさんの木があります。子どもたちは、年長になると木登りすることを楽しみにしています。その園庭と園の裏にある草原をフィールドにしたプログラムができました。

「オーイ！ここにいるよ」のプログラム

木登りなどのダイナミックな活動でバランス感覚やチャレンジ精神を培いながら、さまざまな木の感触、木の大きさ、木の高さなどを体感します。また、木の様子が他の季節と違うことを発見し、木が活着していることも理解します。

「夏にアブラムシがいっぱいついてた木」はどこにある？



カードに書かれた木を探す
(秋になると葉っぱが黄色くなる木、一番背の高い木、春になるとピンク色の花が咲く木など)



いつもと違う木で木登りに挑戦

高くてちょっとこわいなー



ロープを使って木から降りる

やったあできたー！

「？？これはなーに」のプログラム

身近にある草花を「はてなBOX」に入れて何が入っているかを当てる遊びです。この遊びを通して、様々な草花の感触や形、においに気づきます。また、ルーペを使って観察することで、草花の不思議さや美しさを発見します。

「はてなBOX」の中に一人ずつ手を入れて何が入っているか答える。答合わせをするかわりに同じ物を見つけてくるという遊びもできる。



上がザラザラやで。なんやろな？

ぐちゃぐちゃしたら、いいにおいするで！



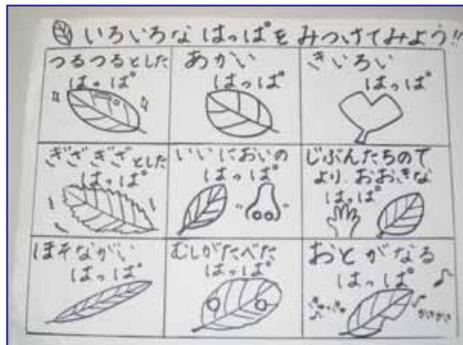
ルーペで観察すると別世界が広がる



葉っぱに毛がいっぱいあるでー！！

「葉っぱでビンゴ」のプログラム

園庭にある葉っぱの形、感触、色、大きさなどの違いをゲームとして活用することで、葉っぱに関心を持つことにつながります。葉っぱに親しみ、楽しく遊んだ後で、葉っぱが果たす役割について学ぶプログラムです。



「ビンゴシート」に書いてある葉っぱをグループごとに探す



赤い葉っぱ
見つけたよ!

手より大きな葉っぱ見つけたよ!



葉っぱがきれいに並んだよ



「葉っぱでビンゴ」ゲームで集めた葉っぱを並べる。小さい葉から大きな葉、黄色から赤色、虫に食われた葉など、さまざまな順番で並べ、葉っぱの移り変わりを知る

声

参加された先生方の

他の先生と一緒にプログラムをつくる中で、自然物がおもしろい遊びの素材に発展していったことが、大変勉強になった。

自然物を使った遊びはワンパターン化していたが、さまざまな展開方法を知ることができた。

職員全員がこの研修を受けられたことで、自然に関して共通の認識が持てて大変よかった。

自然物を使った遊びを通して、自然の循環だけではなく、命の大切さや思いやりの心が育つことがわかり、大変実り多い研修であった。

日常生活の中で、身近にある木や草を見過ごしていたことに気づかされた。保育士の導き方によって、自然の中での遊びが充実することを実感した。

プログラムを実施するにあたって、事前事後の話し合いが大切なことや、自然物を使った後はそのままにするのではなく自然に返すように伝えることなど、改めて自分の保育を思い返すことができた。

自然の中で楽しんだことや興味を持ったことは、子どもたちの心に残っていくと感じた。また、それぞれが感じとったことに刺激を受けて、次々に新たな興味を持っていくことがわかった。